

IJCEE プレゼンテーション演習に対する会員の皆様方からの疑問にお答えします。

項目	ご質問	回 答
<p>年会費と受講料</p>	<p>プレゼン講習・審査会の参加がないとアサインを頂けないことにつきましては、ガイド能力を客観的に把握する必要があるとの趣旨に基づき理解致しました。</p> <p>しかしながら、審査会への参加が有料となるのは如何なものでしょうか。</p> <p>我々ガイドは年会費をお支払いしているものであり、(研修受講や情報などの恩恵はあるものの)その主たる目的は貴方からガイドの仕事を得るためであります。</p> <p>今後貴方からガイドの仕事を得るために審査会参加がほぼ義務付けられることについては納得しますが、仕事を得るために年会費に上乗せしてさらに審査会参加費用が発生することについては納得がいきません。</p> <p>年会費との関係につきもう少しご説明頂けませんか。</p>	<p>◎当交流塾の年会費と受講料について</p> <p>年会費は、組織の維持と機会の提供です。具体的には、以下の項目です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修室、ホームページの管理、会員情報の管理等</li> <li>・専務理事への報酬(月額 15 万円)は、その貢献に比して少額であります但し受け取っていただいております。</li> <li>・観光庁からの通知の連絡や国への要望活動</li> </ul> <p>本業務は、理事長が無給で対応していますが、アンケートの実施などについては、事務局の支援をいただいています。</p> <p>実際、こうした活動により、「通訳案内士を講師として、宿泊業、飲食店に派遣する事業」や、「通訳案内士試験の難しすぎる試験問題の改善」等業界全体の改善が実現したことも重要と考えています。</p> <p>また、現在、インボイス制度の改悪に対しても、財務省や国土交通省への働きかけに取り組んでいます。</p> <p>以上のように、通訳案内士の地位の向上に向けた取り組みは、当交流塾の最も重要な活動の一つです。</p> <p>◎受講料</p> <p>当交流塾の研修は、原則として、すべて有料です。</p> <p>本研修の受講料は、講師謝金と事務局経費から算定されます。</p> <p>本プレゼンテーション演習においても、講師への謝金が必要です。</p> <p>当交流塾の研修の数は、日本通訳案内士団体連合会所属の通訳案内士団体のなかで最も多いのが実情です。このような多様な研修を実施するにあたり、受益者負担の考え方で実施しています。</p>

		<p>◎ 長期継続会員に対する給付事業  新人に比較して、新たに受講する研修の少なくなった会員に対して、年会費の一部を還元しています。</p> <p>◎ プレゼンテーション演習の意義  ガイド養成に有効だと思います。  プレゼンテーションは、単なる評価のための制度ではありません。以下の効果もあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会場審査 3つの分野で計21題のテーマ</li> <li>・オンライン審査 2つの分野で20題のテーマを自ら選びます。</li> </ul> <p>この選んだテーマのなかから、講師から課題が指定される方式となっています。</p> <p>このテーマは、単なる知識でなく、シチュエーションを想定した出題です。</p> <p>5分間のプレゼンテーション演習を準備することが、通訳案内士のスキルを高めます。</p> <p>・また、ベテランガイドによるアドバイスにより、通訳案内士自身が長所と短所を知ることは、自らの成長に不可欠です。</p> <p>研修→ガイド現場→プレゼンテーション評価→改善→ガイド現場というサイクルをとおして、成長していきます。</p> <p>大学受験の勉強は、何度も模擬テストを受けて、レベルが上がるように、プレゼンテーション演習はスキルアップに不可欠です。</p>
<p>今後の実施予定</p>	<p>弊職はこれまで審査会に参加していません。</p> <p>日程が折り合わなかったり、コロナ禍で通訳案内士の業務が滞り参加のインセンティブが失われたことによります。</p> <p>次回の審査会については生憎</p>	<p>◎これまでのプレゼンテーション演習の状況</p> <p>2019年以前は、新人研修の最終日にプレゼンテーション演習を実施していました。このプレゼンテーションは、新人でなくとも参加できることとしていました。</p> <p>3月、6月で、関東と関西合わせて、4～5回程度実施していました。このほか、秋に1回だけ、プレゼンテーション演習を実施していました。</p> <p>2020年の新型コロナウイルス感染症以降は、新人</p>

	<p>スケジュール調整がつかずやむなく不参加となります。そこでお願いなのですが、審査会での評価が貴方からのアサイン獲得の前提条件となるのであれば、今後より多くの機会を設けていただきたいと思います。</p> <p>特に次年度 3 月以降のハイシーズンに入る前には最低あと 3 回程度の審査会開催を強く望みます。</p>	<p>研修の合格者、受講率共に下がりました。</p> <p>2022 年の関西新人研修は、受講率があまりに低く、初めてオンラインで実施しました。</p> <p>◎内容の見直し。</p> <p>これまでプレゼンテーションの時間は、3 分間として、1 人あたりの面接時間は、7 分程度でした。出題は、原則単語一つの形式でした。</p> <p>2022 年の 4 月以降、制度の見直しを行い、プレゼンテーションのテーマは、文章題としました。スピーチの時間は、5 分としました。質疑応答の時間も 5 分程度に、延長しました。</p> <p>◎2023 年以降の予定</p> <p>毎年、4 月、6 月、9 月、12 月の年 4 回実施とします。</p> <p>また、集合による研修は、一定以上の規模を必要とするために、オンラインによる実施を増加していきます。</p>
<p>3 審査会はマストか？</p>	<p>3. 貴方からのアサインを得るために審査会がマストということであれば、むしろ全会員ガイドの参加を義務化して頂きたい。</p> <p>そして公平性・客観性の観点からは一定年度以前の国家試験合格者であるベテラン会員を免除する等の特別扱いは納得できません。</p> <p>全員に義務化すべきと思料します。</p> <p>これが物理的に難しいのであれば、会員ガイドのアサインを審査会参加有無だけでふるい分けるのではなく、貴方との信頼関係の観点からはこれまで貴方から引き受けたガイド実績やそ</p>	<p>◎ 多数の方の受講が大事</p> <p>私達が派遣した現場から、あるいはエージェントから、ガイドの対応力の不足が指摘されています。ガイド現場では、覚えてきた知識を一方向的にしゃべるのではなく、お客様のニーズに答えて、柔軟に対応していく能力が求められます。</p> <p>古参会員は、大きく 2 のグループに分割されます。</p> <p>第 1 のグループは、上記のような対応力を豊富な現場経験から養ってきた人です。</p> <p>そのような方の中から、研修講師をお願いしています。</p> <p>第 2 のグループは、こうした柔軟な対応力なしに、通訳案内士としての活動を断念した方です。</p> <p>このプレゼンテーションによる研修、まだ実務経験の少ない方の登竜門ともなるでしょう。</p> <p>現場に立って、判断を求められる状況に模擬的に対</p>

	<p>れに対する貴方サイドの評価も考慮に入れるべきではないでしょうか。</p> <p>さらに言えば客観性確保ということであれば、貴方主催の新人研修終了後に義務として受験した試験で+評価を受けた事実も考慮対象とすべきではないでしょうか</p>	<p>応することにより、実践力を養うことに意義があります。</p> <p>さきにも申し上げたように、新人研修の最終日のプレゼンテーションも、もちろんプレゼンテーション演習に含まれます。</p>
申請書について	<p>オンラインで審査会受講可となった場合、</p> <p>テーマ申請書(1部)及び評価表(3部)は、審査会前日の12月17日までに、そちらへメールで送付すれば良い、との理解で宜しいでしょうか?</p>	<p>全受講者数、講師を含む全体のスケジュールが確定次第、各受講者に具体的な審査時間、手続き等について事務局よりお知らせします。</p>
記録	<p>私の現在のステータスを知りたくメールしました。</p> <p>私は2018年に合格し、IJCEEで2019年にかなりの研修、演習を受けました。その結果のIJCEEの評価が存在していると思っておりますが、この理解で正しいでしょうか?</p>	<p>当交流塾の受講したすべて記録は、残されています。</p> <p>アサイン丸で管理していた記録も保蔵され、それ以降の審査記録も追加記載されています。</p>
記録の活用について	<p>アサインのためには「プレゼンテーション審査会の評価が不可欠」とございます。</p> <p>私の場合、複数回受講し、最後のプレゼンテーション評価は2019/3/9に実施して頂きました。</p> <p>また、2019年のTJTのガイドアサイン実績は延べ28日でした。</p> <p>Q1. 2019年の評価は現時点でど</p>	<p>当交流塾の受講したすべて記録は、残されています。</p> <p>アサイン丸で管理していた記録も保蔵され、それ以降の審査記録も追加記載されています。</p> <p>アサイン会議においては、その都度、評価を参考にしています。</p> <p>その他、ガイド実績、本人の申請内容、当該事項に関する研修の受講の有無、直近のアサイン歴等を総合的に勘案し、アサインを実施します。</p>

	<p>の様に扱われているのでしょうか？</p> <p>Q2.私の場合、今回の評価を受けないとアサインがなくなり、評価を受ける必要があるのでしょうか？</p>	
--	--	--